

館外イベント 2011 年度

平和祈念展示資料館

2011年度

2012年2月27日 平和祈念ビデオ制作コンクール2011年度受賞作品発表
受賞作品は、2月27日(月)～3月10日(土)まで資料館で上映します。
その後、資料館ウェブサイトでご覧いただけます。

2012年2月13日 平和祈念展 in 府中
平成24年2月27日(月)～3月2日(金) 午前10時～
午後8時(最終日は午後6時まで)
ルミエール府中1F エントランスホール・コンベンシ
ョンホール飛鳥



2012年1月12日 「語り継ぎカフェ」開催!
2月11日(土)、サロン・ド・富山房FOLIO(東京・神田神保町)にて「語り継ぎ
カフェ」を開催します。元少年兵・鈴木忠典さんが戦時を生き抜いた貴重な体験を
語り継ぎます。参加希望の方はこちらから申し込んでください

2011年12月7日 平和祈念展 in 呉
平成24年1月19日(木)～1月23日(月) 午前9時～
午後6時(最終日は午後4時30分まで)
呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム 1階 大和ホー
ル



2011年11月14日 第1回「語り継ぎカフェ」
12月3日(土) サロン・ド・富山房FOLIO(東京・神田神保町)にて、当館名誉館
長・増田弘が兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦を紹介します。

2011年11月2日 平和祈念展 in 釧路
11月22日(火)～11月27日(日) 午前9時30分～午後7時30分 市立釧路図書館

2011年10月17日 平和祈念交流展 in 舞鶴
11月3日(木)～12月18日(日) 午前9時～午後5時30分 舞鶴引揚記念館 企画
展示コーナー

2011年9月22日 平和祈念展 in 長崎
10月12日(水)～10月16日(日) 午前10時～午後8時 長崎市立図書館1F 多目的
ホール

2011年9月8日 平和祈念展 in 神戸
9月27日(火)～10月2日(日) 午前9時～午後5時 神戸市産業振興センター2F 展
示場

2011年9月7日 平和祈念フォーラム in 神戸
10月1日、神戸ハーバーランドに位置する神戸市産業振興センター3Fハーバーホー
ルにて開催決定!

2011年7月29日 子ども霞が関見学デー
霞が関の府省庁等が連携して、業務説明や省内見学などを行う「子ども霞が関見学
デー」。夏休みに、親子で触れ合いながら、子どもたちが広く社会の仕組みを体験
できる機会となっています。

2011年7月25日

平和祈念展 in 新宿

平和祈念展示資料館では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継ぐため、館内外で企画展や講演会などさまざまな事業を行っています。

-
- 2011年7月15日 **平和祈念フォーラム in 新宿 開催！**
俳優の大和田伸也さんと長男で俳優の悠太さんが労苦体験を朗読劇で語り継ぎます。参加者希望の方はこちらから
-
- 2011年7月11日 「平和祈念展 in 津」朗読会開催決定
7月21日（木）・22日（金）【1】13：00～/【2】15：00～
-
- 2011年7月1日 「平和祈念展 in 津—未来に語り継ぐ記憶」開催
平和祈念展示資料館では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継ぐために、館内外で企画展や講演会などのさまざまな事業を行っております。
-
- 2011年6月7日 「語り部」小学校派遣申込み開始しました。
戦争体験者の労苦や平和の尊さについて小学生に理解を深めてもらうため、戦争の直接の体験者である「語り部」を学校等での教育活動や総合学習の場に派遣することができますが、そのプログラムについて以下の通りご案内します。
-
- 2011年5月17日 「平和祈念展in沖縄」朗読会開催決定
5月26日（木）・27日（金）【1】13：00～/【2】15：00～
-
- 2011年5月11日 **未来に語り継ぐ記憶「平和祈念展in沖縄」開催**
さきの大戦での「兵士」、「戦後強制抑留者」、「引揚者」の労苦を語り継ぎ、平和の尊さについて考える機会を、来館が困難な地方でも提供するため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を全国で開催しています。

未来に語り継ぐ記憶「平和祈念展in沖縄」開催



↑画像は2月の横浜・新都市プラザでの模様

実施概要

場所	沖縄県平和祈念資料館 沖縄県糸満市摩文仁614-1
期間	平成23年5月25日(水)～30日(月)
時間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
料金	無料(※但し、常設展示室は有料)

>> 朗読会実施決定 <<

労苦体験者自身の手記をまとめた『平和の礎 (いしずえ)』。NPO法人国際朗読ことば協会の2人が、家族や祖国への想いをのせて語ります。

■朗読者

NPO法人国際朗読ことば協会
蔭山 武人 (元NHKアナウンサー)
松 みき (朗読インストラクター)

■5月26日(木)

「鎮魂の灯」 (二人語り：蔭山&松)
(1)午後1時～/(2)午後3時～

■5月27日(金)

「生き地獄からもどったわたし！」
(一人語り：松)
(1)午後1時～/(2)午後3時～

さきの大戦での「兵士」、「戦後強制抑留者」、「引揚者」の労苦を語り継ぎ、平和の尊さについて考える機会を、来館が困難な地方でも提供するため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を全国で開催しています。

今年度最初の開催は沖縄県平和祈念資料館。当資料館所蔵の代表的な資料を多数展示します。



←沖縄県在住の元兵士の方から寄贈された「軍隊手牒」



←戦後強制抑留者が着ていた袖なし防寒外套



←引揚者が布製おむつ(使い捨ての紙製ではない)で作った子ども用ワンピース

好評のうちに終了しました。
たくさんのご参加、ありがとうございました。

校外学習案内

平和祈念展示資料館は、パネルや映像により各自で自由に見学ができるほか、より充実した校外学習にするためのプログラムも用意しています。

滞在予定時間や目的にあわせて見学コースをご提案しますので、お問い合わせください。

施設の利用案内のリーフレットで詳細をご覧ください。

[施設利用案内リーフレットをダウンロードする](#)

校外学習向けプログラムについて

常設展示の展示解説(30分～90分程度)

当資料館では、展示をより理解してもらうために、解説員による展示解説を実施しています。

ご希望の場合は、事前にお申込みいただくか、受付にお知らせください。

※要望に応えられない場合がありますので、ご了承ください。



語り部お話し会(60分程度)

当資料館では、語り部を通して、さきの大戦における体験者の労苦を伝える機会として、毎月第3日曜日に「語り部お話し会」を実施しているほか、校外学習にも対応しています。

ご希望の場合は事前にお申込みください。

※10名以上の校外学習が対象です。

要望に応えられない場合がありますので、ご了承ください。



見学ノートについて

当資料館の展示への理解を深めるために役立つ見学ノートを用意しています。展示やビデオ映像を見たり、図書閲覧コーナーにある本を読んだりして、展示室を見学しながらメモを書き入れることができます。

[見学ノートをダウンロードする](#)

パンフレット類は当ホームページからダウンロードできるほか、ご希望の学校には送付することも可能です。

[パンフレットダウンロードはこちら](#)

- ・パンフレット
(年表、展示紹介、代表的資料の紹介)



- ・リーフレット
(施設概要の紹介)
※ルビ付きの子ども向け、英語版もあります。



- ・見学ノート



- ・「戦後強制抑留」や「海外からの引揚げ」
について、わかりやすく学べる漫画を
来館時に無料で配布しています。



大型バスの利用について

大型バスの駐車は、東京都庁大型車駐車場の利用が便利です。

[交通アクセスについてはこちら](#)

館内の撮影について

撮影できます。ただし一部撮影できない資料がございます。
撮影に関する注意事項は[こちら](#)

校外学習の申込み・お問い合わせ

TEL:03-5323-8709

FAX:03-5323-8714

E-mail: dantai@heiwakinen.jp

[申込み方法についてはこちら](#)

「平和祈念展 in 津—未来に語り継ぐ記憶」開催



↑ 画像は5月に行った平和祈念展in沖縄での模様

実施概要

場 津リージョンプラザ
所 三重県津市西丸之内23-1

期 平成23年7月21日（木）～24日
間 （日）

時 午前9時～午後5時
間

料 無料
金

>> 朗読会実施決定 <<

引揚者の体験を綴った絵本「おもいでのリュック」。NPO法人国際朗読ことば協会の松みきさんが、家族や祖国への想いをのせて語ります。

「おもいでのリュック」の作者・三田村治代さんが使われたリュックも展示されます。朗読を聞いたあとにぜひご覧ください。

■朗読者

NPO法人国際朗読ことば協会
松みき（朗読インストラクター）

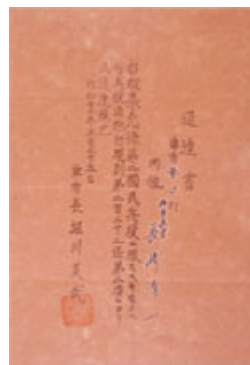
■ 7月21日(木)・22日(金)
(1)午後1時～ / (2)午後3時～

平和祈念展示資料館では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継ぐために、館内外で企画展や講演会などのさまざまな事業を行っております。

「平和祈念展in津」では、当資料館所蔵の代表的な資料や写真などを展示するほか、当時の津市役所から発行された公文書や体験者が抑留先から家族に宛てた手紙なども紹介しています。



↑ 津市在住の長崎晴一さんは昭和11（1936）年10月1日付けで、津市役所から「徴兵適齢届出二関スル件」を受け取った



↑ その長崎さんに翌12年5月25日付けで、津市長から「第二国民兵役編入」が通達される



↑ 抑留生活中、長崎さんが妻の京子さん宛てに出した「俘虜用郵便葉書」。子どもや両親など親族の様子を気に掛ける心遣いが伺える



↑ 森林伐採に使われたロシア製のこぎり



↑ 戦後強制抑留者が着ていた袖なし防寒外套



↑ 引揚者が布製おむつ（使い捨ての紙製ではない）で作った子ども用ワンピース

平和祈念フォーラム in 新宿 開催！

大和田伸也・悠太親子が語り継ぐ戦争体験 あの労苦を知れば、今の幸せを知ることができる。

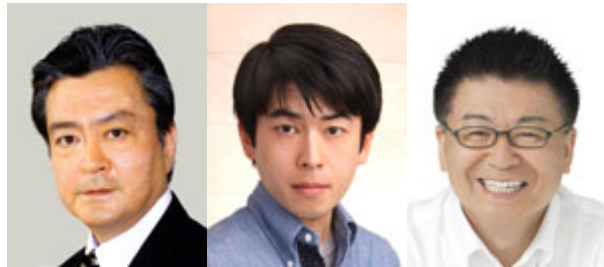
平和祈念展示資料館では、さきの大戦における「兵士」、「戦後強制抑留者」、「引揚者」の方々の労苦に関する理解を深め次の世代へ継承するため、フォーラムや展示会などを全国で開催しています。

「平和祈念フォーラム in 新宿」では、実父が満州引揚者である俳優の大和田伸也さんが、長男で俳優の悠太さんとの共演による労苦体験の語り継ぎを朗読劇で披露します。また、フリーアナウンサーの生島ヒロシさんを司会に、労苦体験者、当資料館名誉館長・増田弘氏とともに、体験を語り継ぐ世代、さらにそれを受け継ぐ世代という大和田さん親子を交えて、語り継ぐことの大切さをパネルディスカッションします。

▶ 概要

日時	平成23年8月14日（日） 午後2時～午後4時（開場午後1時30分）
会場	新宿明治安田生命ホール 新宿駅西口 徒歩2分

入場無料



大和田伸也
（俳優）

大和田悠太
（俳優）

生島ヒロシ
（フリーアナウンサー）

▶ プログラム

司会：生島ヒロシ

第1部	朗読劇 大和田伸也・大和田悠太 パントマイム：SOUKI
第2部	パネルディスカッション 大和田伸也・悠太、労苦体験者、 増田弘（名誉館長・東洋英和女学院大学 国際社会学部長）



朗読劇をパントマイムでわかりやすく伝えるSOUKI（そうき）

▶ 申込方法

定員：300名（先着）●8月10日（水）必着

事前申込み制です。下記3種類の方法のいずれかで申し込んでください。締切は8/10ですが、定員になり次第、受付は終了します。申込まれた方、全員に参加の可否を連絡します。

この件に関するお問い合わせ

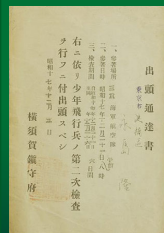
forum@heiwakinen.jp

TEL：03-5919-0163（月～金曜10：00～18：00）

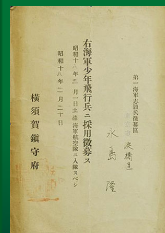
平和祈念展示資料館では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継ぐため、館内外で企画展や講演会などさまざまな事業を行っています。「平和祈念展 in 新宿」では、当館所蔵の代表的な資料や写真などを展示するほか、新宿在住だった方が出征するにあたって横須賀鎮守府から発行された公文書や軍歴なども紹介します。

ご当地資料 in 新宿

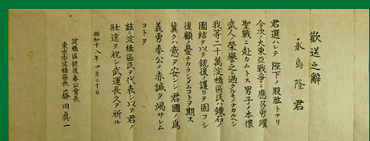
平和祈念展in新宿が開催される西新宿は1960年代まで淀橋と呼ばれていた（ヨドバシカメラの由来にもなった地名）。東京市淀橋区在住だった14歳の少年・永嶋隆氏が志願し、出征する様子を表す資料を展示します。



昭和17（1942）年12月、永嶋氏は航空兵として志願。三重海軍航空隊において身体検査と航空適性検査を受けるように出頭を命じられます



海軍少年飛行兵に採用され、昭和18（1943）年3月1日に土浦海軍航空隊に入隊することを命じた通知を受け取ります



淀橋区銃後奉公会長である東京市淀橋区長から海軍に志願した永嶋氏へ武運長久を祈る歓送の辞が送られます。14歳と若かったため特別扱いでした

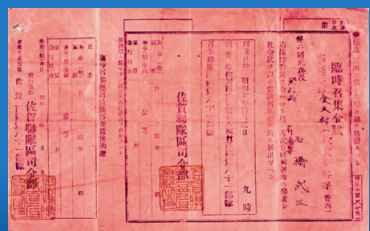


永嶋氏が実際に使用した海軍飛行予科練習生の第二種軍帽



永嶋隆氏は、海軍乙種飛行予科練習生課程を卒業し、特攻兵となり、終戦を迎えました

代表的展示資料



佐賀県聯隊区司令部より東京在住の40代の男性に出された臨時召集令状（いわゆる赤紙）



シベリアの酷寒の地にありながら、あまりの空腹に外套の袖を切り、パンと交換してもらった



引揚者が布製おむつ（使い捨ての紙製ではない）で作った子ども用ワンピース

オリエンテーリングイベント開催

新宿駅西口広場の平和祈念展 in 新宿会場から平和祈念展示資料館まで5つのチェックポイントを回ります。クリアすると記念品をプレゼントします。もちろん無料です。ご家族揃って参加してください。



実施概要

場所 [新宿駅西口広場 イベントコーナー](#)
[東京都新宿区西新宿1西口地下街1号](#)

期間 平成23年8月9日（火）～14日（日）

時間 午前9時～午後8時（最終日は午後4時まで）

料金 無料

<<お問い合わせ>>

info@heiwakinen.jp

子ども霞が関見学デー



霞が関の府省庁等が連携して、業務説明や省内見学などを行う「子ども霞が関見学デー」。夏休みに、親子で触れ合いながら、子どもたちが広く社会の仕組みを体験できる機会となっています。

総務省では、パソコンなど先端の電子機器を用いた体験学習や、消防車の展示など、身近で幅広い仕事をご紹介するためのイベントを多数予定しています。

総務省委託施設である平和祈念展示資料館も、このイベントに参加。当資料館の紹介はもちろん、「語り部」小学校派遣などの館外で行っている活動も紹介します。また、平和へのメッセージを募集、ハガキに書いていただきます。ハガキは資料館に掲示します。ご家族揃って参加してください。

開催日時	平成23年8月17日（水）、18日（木） 午前10時～午後3時
対象	全国の小・中学生 ※原則として保護者同伴
内容	1. 平和祈念展示資料館の紹介展示 2. 「語り部派遣」など館外活動の紹介 3. 「平和へのメッセージ」をハガキに書こう！
開催場所	中央合同庁舎2号館総務省本館1階ロビー (東京都千代田区霞が関2-1-2) ※当日は1階正面玄関からのみ入れます。 ほかの出入口からは入れません。ご注意ください。
アクセス	東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線 「霞ヶ関」駅下車直結 東京メトロ有楽町線「桜田門」駅下車 徒歩約3分 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅下車 徒歩約8分



5/29まで開催した企画展「絵葉書に見る戦争の諸相」で来館者にメッセージを書いてもらい、館内に掲示しました。7月10日まで延長するほど好評だったため、今回も掲示します



そのほかの総務省イベント

- チャレンジ・ザ・ファイヤーファイター～君はどれだけ消防士に近づけるかな！～
- キミも統計データとふれあおう！
- 行政相談を体験しよう！
- 電波ってなあに？～電波利用ルールをまなぼう！～
- こんなこともできる！ スマートホンで遊ぼう
- 「未来の学校」を体験しよう！～フューチャースクール推進事業～

大和田伸也・悠太親子が語り継ぐ戦争体験

平和祈念展示資料館では、先の大戦における「兵士」、「戦後強制抑留者」、「引揚者」の方々の労苦に関する理解を深め次の世代へ継承するため、全国でフォーラムなどを開催しています。「平和祈念フォーラム in 神戸」では、実父が満州からの引揚者である俳優の大和田伸也さんが、長男で俳優の悠太さんと共演で労苦体験を朗読劇で披露します。また、元NHKアナウンサーの寺谷一紀さんを司会に、体験を受け継いだ大和田さん親子、学識経験者を交えて、「戦争体験を語り継ぐには」をテーマにパネルディスカッションします。

▶ 概要

日時	平成23年10月1日（土） 午後2時～午後4時（開場午後1時30分）
会場	神戸市産業振興センター 3F ハーバーホール JR「神戸」駅より徒歩5分

入場無料



大和田伸也
（俳優）

大和田悠太
（俳優）

寺谷一紀
（アナウンサー・
追手門学院大学客
員教授）

▶ プログラム

司会：寺谷一紀

第1部	朗読劇 大和田伸也・大和田悠太
第2部	合唱・神戸少年少女合唱団「アリス」 パネルディスカッション 大和田伸也、大和田悠太、 小池聖一（広島大学大学院国際協力研究科教授） 蔭山武人（NPO法人 国際朗読ことば協会代表・広島経済大学教授）



神戸少年少女合唱団「アリス」
朗読劇に出てくる曲を合唱

PC で申込む

上のボタンをクリックして進んでください。

FAX で申込む

上のボタンをクリックして申込用紙をダウンロード。必要事項を記入して下記まで送信してください。

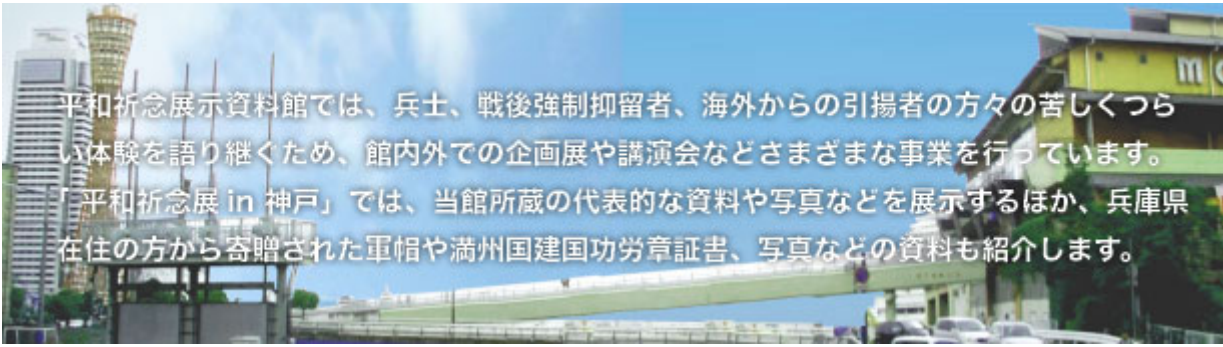
送信先
03-5919-0164

ハガキで申込む

ハガキに、氏名、年齢、住所、電話番号、参加希望人数を記入の上、下記まで郵送ください。

〒160-0003
東京都新宿区本塩町3-3
四谷駅前郵便局
平和祈念展示資料館平和祈念フォーラム係

この件に関するお問い合わせ
forum@heiwakinen.jp
TEL：03-5323-8709



兵庫県在住者の展示資料



その他の展示資料



毎日 13:00 からイベント開催！

9月27日（火）28日（水）29日（木）30日（金）

アニメ上映会
「青い記憶—満蒙開拓と少年たち」



大陸で開拓と警備にあたった少年たちを通して、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、友情の大切さを伝えてくれます。

（各90分）

10月1日（土） 2日（日）

絵本朗読会
「おもいでのリュック」「金のひしゃく」



平和祈念フォーラムin神戸で司会を担当する寺谷一紀さんが指導している方々が登壇します。労苦体験を綴った絵本「おもいでのリュック」と「金のひしゃく」を朗読します。

（各30分）

実施概要

場所 [展示場（神戸市産業振興センター2F）](#)
[神戸市中央区東川崎町18-4](#)

期間 平成23年9月27日（火）～10月2日（日）

時間 午前9時～午後5時

料金 無料

<<お問い合わせ>>

info@heiwakinen.jp

元佐世保引揚援護局職員が60年間預かり続けた「想い」

平和祈念展示資料館では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継ぐため、全国で企画展や講演会などを行っています。

「平和祈念展 in 長崎」では、当館所蔵の代表的な資料や写真などを展示するほか、戦後、海外からの引揚者の受入業務にあたった佐世保引揚援護局ゆかりの資料を展示します。

元佐世保引揚援護局職員からの資料

終戦の混乱の中、海外からの引揚者が日本の国内事情を正確に知ることは困難でした。佐世保引揚援護局「局史」にも、「普通常識では考えられないことが噂されていたので内地の社会情勢に対し、引揚者は多大の不安と危惧の念を抱いて上陸した」という記録が残っています。

本展では、收容宿舎で帰郷の順番を待つ一部の引揚者が「進駐軍に現金を没収される」という噂を信じて引揚援護局職員に託したお金を、当事者である元職員の証言をもとに紹介します。佐世保の地に残された「想い」に心を寄せてください。

葫蘆島などより
139万人以上



元佐世保引揚援護局職員に託されたお金



收容宿舎に残された飯盒と汁椀

長崎の海兵団の今昔

長崎には佐世保鎮守府管轄の3つの海兵団がありました。佐世保引揚援護局があったのは、針尾海兵団の跡地。現在はハウステンボスに転用されています。

66年前の10銭

1945年、国鉄（現JR）の初乗り運賃は10銭でした。現在の初乗り運賃は130円。電車の運賃で比較すれば、物価は1,300倍になったということになります。

その他の展示資料



佐賀県聯隊区司令部より東京在住の40代の男性に出された臨時召集令状（いわゆる赤紙）



シベリアの酷寒の地にありながら、あまりの空腹に外套の袖を切り、パンと交換してもらった



引揚者が布製おむつ（使い捨ての紙製ではない）で作った子ども用ワンピース



実施概要

場所 [長崎市立図書館1F 多目的ホール](#)
[長崎市興善町1-1](#)

期間 平成23年10月12日（水）～10月16日（日）

時間 午前10時～午後8時（最終日は午後4時30分まで）

料金 無料

<<お問い合わせ>>

info@heiwakinen.jp



戦後強制抑留者の高齢化が進み、その労苦を語り伝えていくことが課題となる中、平和祈念展示資料館では、舞鶴引揚記念館との交流展示を行います。

昭和20（1945）年の秋以降に、多くの日本人が抑留され、森林伐採・鉄道の敷設・鉱山での採掘などに従事させられました。酷寒の中での過酷な労働や貧しい食事などのため約5～6万人もの人々が亡くなりました。このように強制抑留された多くの人々にも、普段の姿がありました。生活の一端がうかがえる、抑留前に撮影された写真や手記を展示します。



展示手記を読む

1. 私のシベリア抑留
地獄の底を這い回った四年半
2. 泥まみれの軌跡
3. シベリア回想五人の兵
4. ソ連軍との交戦とシベリア抑留記
5. 鎮魂の灯
6. 回想シベリア抑留記

博多、佐世保に次いで多くの引揚者を受け入れた舞鶴。昭和21（1946）年末に、旧満州などからの受入が終わり、シベリア強制抑留者の引揚げが始まった。

最終船は33年9月7日、樺太・真岡からの白山丸で、13年にわたる歴史が終わった。引揚者総数のうちシベリアからの戦後強制抑留者が約84%を占めたことが舞鶴の特徴。

実施概要

場 所 舞鶴引揚記念館 企画展示コーナー
京都府舞鶴市字平 引揚記念公園内

期 間 平成23年11月3日（水・祝）～12月18日（日）

時 間 午前9時～午後5時30分（入館午後5時まで）

料 金 無料

舞鶴引揚記念館への入館料が必要です。

舞鶴の資料展示

関連イベント開催！

館長特別講演

舞鶴引揚記念館の貴重な資料を、特設展示ケースで展示します。この機会にぜひご覧ください。

.....
10月24日（月）～11月27日



平和祈念交流展in舞鶴の開催にあわせて、舞鶴引揚記念館の宮本館長が来館します。

京都府にある舞鶴港は第二次世界大戦後に政府が指定した引揚港の一つで、13年間に亘りその使命を果たしました。今回、舞鶴引揚記念館宮本光彦館長が「引揚げと舞鶴港」をテーマに特別に講演会を行います。

.....
11月27日（日）午後2時～午後3時 ビデオシアター
—
定員40名（先着）

<<お問い合わせ>>

info@heiwakinen.jp

その他の展示資料



臨時召集令状 (いわゆる赤紙)



袖なし外套



オムツで作ったワンピース

特別イベント開催！ 4階 視聴覚ホール

上映	対談	上映	紙芝居	朗読
22日 (火) 午後1時-午後3時 映画 「樺太1945年夏 氷雪の門」	23日 (水) 午後1時-午後2時 竹野学 (北海商科 大学准教授) × 増田弘 (平和祈念 展示資料館名誉館 長)	24日 (木) 午後1時-午後3時 映画 「樺太1945年夏 氷雪の門」	26日 (土) 午後1時-午後1時 30分 戦争の労苦体験を 描いた紙芝居 おはなしネットぼ んぼん	26日 (土) 午後1時45分-午後 2時30分 戦争の労苦体験を 描いた絵本の朗読 おはなしネットぼ んぼん



実施概要

場所 市立釧路図書館
釧路市幣舞町4-6

期間 平成23年11月22日 (火) ~11月27日 (日)
※11月25日 (金) は休館

時間 午前9時30分~午後7時30分

料金 無料

<<お問い合わせ>>
info@heiwakenen.jp

第1回「語り継ぎカフェ」



平和祈念展示資料館では戦争の労苦体験をわかりやすく継承するために、サイエンス・カフェ形式の「語り継ぎカフェ」を、サロン・ド・富山房FOLIO（東京・神田神保町）で、行います。

当資料館名誉館長・増田弘が、兵士・戦後強制抑留者・海外からの引揚者の三労苦をわかりやすく解説し、質疑応答などで理解を深めていただきます。

土曜日の午後、お茶を楽しみながら、平和の大切さを考えてみませんか？

実施概要

日時 平成23年12月3日（土）
午後2時～午後4時（開場午後1時30分）

場所 サロン・ド・富山房FOLIO
東京都千代田区神田神保町1-3 富山房ビルB1
地下鉄神保町駅A7出口より徒歩5分

参加費 無料（1ドリンク・デザート付）

メールで申込む

上のボタンをクリックすると、お使いのメールソフトが起動します。お名前、フリガナ、住所、電話番号、参加人数を記載して送信してください。

FAXで申込む

上のボタンをクリックして申込用紙をダウンロードしてください。必要事項を記入して下記まで送信してください。

FAX送信先
03-5323-8714

サイエンスカフェとは？



サイエンスカフェとは、科学技術の分野で従来から行われている講演会、シンポジウムとは異なり、科学の専門家と一般の人々が、カフェなどの比較的小規模な場所でコーヒーを飲みながら、科学について気軽に語り合う試みです。

<<お問い合わせ>>
cafe@heiwakinen.jp

平和祈念展 in 呉

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型などを展示します。

日時 2012年1月19日（木）～1月23日（月）

午前9時～午後6時

（最終日は午後4時30分まで）

会場 呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム 1階 大和ホール
広島県呉市宝町5-20

入場料 無料



広島県ゆかりの資料

<シベリア抑留と戦後の生活>

田邊叶さんは、明治27（1894）年に広島県で生まれ、大正3（1914）年、徴兵され旅順重砲兵大隊へ入隊します。その後下士官となり、昭和2（1927）年には陸軍少尉となります。昭和12（1937）年、満州（現・中国東北部）に赴任し、昭和16（1941）年には、内地から牡丹江に家族を呼び寄せました。そして、昭和20（1945）年8月17日ソ連軍により武装解除され、51歳でシベリアに抑留されました。

抑留中、長男からの俘虜郵便によって妻が延吉収容所で発疹チフスにより、また広島に嫁いだ長女が原爆により亡くなったことを知ります。昭和23（1948）年8月14日舞鶴に上陸、復員し、広島県山県郡吉坂村（現・北広島町）に帰ってきました。帰国後は、農地の開墾や日雇い作業に従事し、昭和48（1973）年に79歳で死去しました。

今回の展示では、田邊さんの軍隊生活時代や戦後の生活での資料を紹介します。



陸軍武官正装

着用するのは、正帽、前立、正衣、正袴、飾帯、飾緒、短靴、刀、刀緒、刀帯、手袋（白色）でした。前立と飾帯を用いない場合は、礼装となりました。



スプーン

シベリア抑留時に使用していた手製スプーン。



大東亜戦争割引国庫債券

日本政府が、戦費調達のために発行した債券。この債券は、真珠湾攻撃から丸1周年にあたる昭和17（1942）年12月7日に売り出されたため、開戦1周年の印が押してあります。

「語り継ぎカフェ」開催！



平和祈念展示資料館では戦争の労苦体験をわかりやすく継承するために、サイエンス・カフェ形式の「語り継ぎカフェ」を、サロン・ド・富山房FOLIO（東京・神田神保町）で、行います。

ゲストは昭和18（1943）年、14歳で横須賀海兵団に入団した鈴木忠典さん。潜水艦乗務員として戦時を生き抜いた貴重な体験を語り継ぎます。

土曜日の午後、お茶を楽しみながら、平和の大切さを考えてみませんか？

実施概要

日時 平成24年2月11日（土）
午後2時～午後4時（開場午後1時30分）

場所 サロン・ド・富山房FOLIO
東京都千代田区神田神保町1-3 富山房ビルB1
地下鉄神保町駅A7出口より徒歩5分

ゲスト 鈴木忠典（語り部）

司会 増田弘（平和祈念展示資料館名誉館長）

参加費 無料（1ドリンク・デザート付）



メールで申込む

上のボタンをクリックすると、お使いのメールソフトが起動します。お名前、フリガナ、住所、電話番号、参加人数を記載して送信してください。

FAXで申込む

上のボタンをクリックして申込用紙をダウンロードしてください。必要事項を記入して下記まで送信してください。

FAX送信先
03-5369-2802

サイエンスカフェとは？

サイエンスカフェとは、科学技術の分野で従来から行われている講演会、シンポジウムとは異なり、科学の専門家と一般の人々が、カフェなどの比較的小規模な場所でコーヒーを飲みながら、科学について気軽に語り合う試みです。

<<お問い合わせ>>
cafe@heiwakinen.jp

平和祈念展 in 府中

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型などを展示します。

日時 平成24年2月27日（月）～3月2日（金）
午前10時～午後8時
（最終日は午後6時まで）

会場 ルミエール府中1F エントランスホール・コンベンションホール飛鳥
東京都府中市府中町2-24

入場料 無料



協力 府中市立中央図書館

後援 東京都／府中市／府中市教育委員会／公益財団法人府中文化振興財団

平和祈念展示資料館（西新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 府中」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

また、エントランスホールでは、従軍カメラマン小柳次一が撮影した写真の一部をスクリーンで紹介します。



腕章

衛生兵の所持品。衛生兵は、戦闘に際して傷を受けた兵士に緊急治療を施すのが主たる任務の一つでした。



メンタ酒（消毒薬）入れ



ロシア製斧

抑留者はこうした斧やのこぎりなどを使って伐採作業に従事しました。



ロシア製のこぎり



リュックサック

多くの母親が、大きなリュックを背負い、大きな荷物を持ちながら、子供を連れて祖国日本を目指しました。



引揚証明書

引揚者はこの書類により、物資の支給を受けることができました。



平成24年2月26日(日) 受賞作品発表



次代を担う高校生に、さきの大戦における労苦を知り、平和について自ら考え表現してもらうことを目的とした『平和祈念ビデオ制作コンクール』を実施しています。

2011年度の募集には全国の高校から約30作品の応募があり、2月26日の表彰式で受賞作品を発表しました。

受賞作品は、[こちら](#)からご覧いただけます。

2011年度受賞作品

最優秀賞

学校名	島根県立浜田水産高等学校
タイトル	「語られざる戦い」

優秀賞

学校名	北海道旭川工業高等学校
タイトル	「伝えられなかった戦争」

学校名	鹿児島県立種子島高等学校
タイトル	「残りし者は静かに想う」

特別賞

学校名	埼玉県立松山高等学校
タイトル	「遅ればせの鎮魂歌」



島根県立浜田水産高等学校



北海道旭川工業高等学校



鹿児島県立種子島高等学校



埼玉県立松山高等学校